



水災害発生リスクの見える化



水位予測

対象業種 建設業

分野 気象



お客様の課題



ご提案内容

事務所担当者は多忙でモニタ監視まで手が回らず、アラート情報を見逃しがちになる。

土砂災害などの緊急度の高い情報をスマホなど個人メールで受信するのは心理的負荷が大きい。

Riskmaからの水位予測アラートをクラウド経由でNHVを制御。TTS(Text-To-Speech)で作成した音声データで災害情報内容を柔軟に発報可能。

また、音声合成回転灯で屋外作業現場へ報知することでより注意喚起につながります。

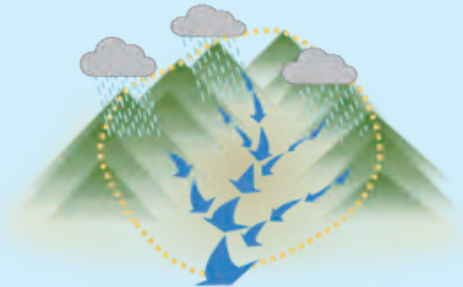
システムイメージ

株式会社建設技術研究所

「水位予測アラートサービスRiskma」連携事例



RisKma河川水位予測モデルの特徴



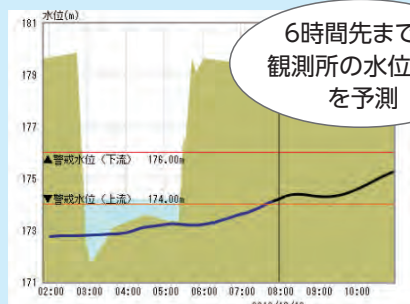
- ① 気象庁のレーダ雨量+予測雨量で対象地点上流域の雨をもれなく把握
- ② 流域に降った降雨を物理モデル(全国を250mメッシュに分割した流出モデル)により河川流量に変換
- ③ 物理モデルのパラメータをAIの技術により調整し、精度の高い水位予測※を実現
- ④ 観測所がない任意の地点での水位予測も可能
- ⑤ 最大6時間先までの水位予測に対応

※気象庁予測雨量の精度が悪い場合、水位予測の精度も低下します。

アラートの通知

水位超過予測でアラート発信

〇〇地点水位予測



音声対応ネットワーク制御信号 NHV6-3D-RYG

事務所



水位超過予測でメール配信&専用の予測情報ページ提供



E-mail



350mまで

ワイヤレスコントロールユニット PWS型 送受信機

現場



アラートメール導入事例

- ・某大手不動産関係
- ・某大手化学メーカー様

機器構成

- 音声対応ネットワーク制御信号灯 NHV シリーズ
- ワイヤレスコントロールユニット PWS シリーズ
- 音声合成回転灯 RT-VF